

目次

1 目次・本レポートについて

3 キャノンの企業理念

4 CEO メッセージ



10 経営方針

- 10 グローバル優良企業グループ構想の変遷
- 11 グローバル優良企業グループ構想フェーズⅦ
- 13 財務戦略

15 価値創造

- 15 価値創造プロセス
- 16 重要テーマとSDGs
- 17 キャノンの歩み(国際化)
- 19 キャノンの歩み(多角化)

20 事業戦略

- 20 事業概要
- 21 プリンティング
- 23 メディカル
- 25 イメージング
- 27 インダストリアル

29 資本戦略

- 29 研究開発戦略
- 31 知的財産戦略
- 33 人材戦略

36 環境に対する取り組み

- 36 環境マネジメント
- 37 気候変動
- 40 サーキュラーエコノミー
- 41 化学物質の管理
- 42 生物多様性とエコシステム

43 社会に対する取り組み

- 43 人権の尊重
- 47 サプライチェーンマネジメント

49 ガバナンス

- 49 コーポレート・ガバナンス
- 56 社外取締役インタビュー
- 57 役員一覧

59 企業情報

- 59 財務データ
- 60 会社・株式情報

本レポートについて

編集方針

本統合報告書は、ステークホルダーのみなさまにキヤノンの中長期的な企業価値創造ストーリーへのご理解を深めていただけるよう、経営計画や事業、財務、人材などの各戦略とともに、ESGの取り組みをまとめ、網羅的でありながらも、より読みやすい内容になるように心がけています。

参考にしたガイドライン

国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイドンス」
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言
自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)による提言
詳細なESG関連情報については、「CANON SUSTAINABILITY REPORT」をご参照ください。

参考: CANON SUSTAINABILITY REPORT

<https://global.canon/ja/sustainability/report/>

また、詳細な財務情報については、「有価証券報告書(第125期)」
「CANON ANNUAL REPORT 2025」をご参照ください。

参考: 有価証券報告書(第125期)

<https://global.canon/ja/ir/library/yuuhou.html>

参考: CANON ANNUAL REPORT 2025

<https://global.canon/ja/ir/library/annual.html>

報告対象組織

キヤノングループ全連結対象会社321社(国内55社、海外266社)のデータを取りまとめて報告しています。

発行時期

2026年4月(前回:2025年4月、次回予定:2027年4月)

文中の表記

「キヤノン」はキヤノン株式会社およびその連結子会社すべてを含むグループ全体を、「キヤノン(株)」はキヤノン株式会社単体を表しています。「従業員」は社員のほかパート・アルバイトなども含みます。欧州・中東・アフリカ地域を含めて「欧州」としています。また、「キヤノンMJ」はキヤノンマーケティングジャパン株式会社を表しています。

開示データ/免責事項

原則として、2025年1月1日から12月31日の連結会計範囲における経済・社会・環境の各項目に関わる活動を中心に報告しています。重要な目標・指標・取り組みなどについては、補足的に2024年以前や2026年以降の情報も記載しています。対象地域や組織が限定されている情報については個別に明示しています。算出方法の変更や対象拠点などの拡大にともない、これまで開示した過去データの見直しを行っています。したがって、一部過去の開示データと異なる部分があります。

本レポートには、キヤノンの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略にもとづいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。

問い合わせ先

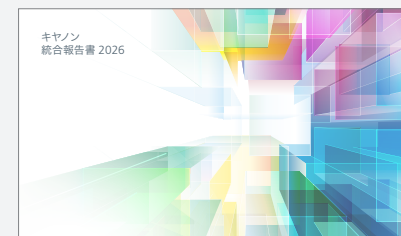
キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2

TEL:03-3758-2111(代表)

表紙について

2026年から始まったグローバル優良企業グループ構想フェーズVIIで、キヤノンのさまざまな技術が融合し、成長し続ける姿を表現しました。



キヤノンの企業理念

共生

キヤノンの企業理念は、「共生」です。

私たちは、この理念のもと

文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず

すべての人類が末永く共に生き、共に働き

幸せに暮らしていける社会をめざします。

しかし、経済、資源、環境など

現在、地球上には共生を阻むさまざまな問題があります。

キヤノンは、共生に根ざした企業活動を通じて

これらを解消するため、積極的に取り組んでいきます。

真のグローバル企業には、お客さま、地域社会に対してはもちろん

国や地域、地球や自然に対してもよい関係をつくり

社会的な責任を全うすることが求められます。

キヤノンは

「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし

共生の実現に向けて努力を続けます。

キヤノンの企業DNA

歴史を刻み、発展できた背景には、脈々と受け継がれるキヤノンの企業DNA「人間尊重」「技術優先」「進取の気性」があります。ベンチャー企業として始まった進取の気性と、技術による差別化をめざす姿勢は、深く浸透し、つねにキヤノンは社会に新しい提案をしてきました。それを支えてきたのが実力主義や健康第一主義などの人間尊重の姿勢です。今後100年、200年と発展し続けるために、キヤノンはこの企業DNAを次の世代にしっかりと継承していきます。

人間尊重

技術優先

進取の気性

三自の精神

キヤノンの行動指針の原点。それが、創業期から受け継がれる「自発・自治・自覚」の「三自の精神」です。企業DNAを伝承しながら、真のグローバルエクセレントカンパニーをめざすキヤノンにとって、いまも最も重要な指針となっています。

[自発] 何事にも自ら進んで積極的に行う

[自治] 自分自身を管理する

[自覚] 自分が置かれている立場・役割・状況をよく認識する